



三好鉄工株式会社

MIYOSHI IRON WORKS CO.,LTD.

DXビジョン

将来像（めざす姿）

製造業として培ってきた高品質・高精度のものづくりを基盤に、自社業務の全てがデータで紐づき、業務の見える化および自動化が進んだ状態を将来像として掲げる。

全業務プロセスの連携

デジタル連携

生産管理・品質管理・設備管理・人材育成など、全ての業務プロセスをデジタルで連携させる。

標準化・属人化解消

品質の均一化

属人化を解消し、誰でも同じ品質で業務遂行できる仕組みを構築する。

データで意思決定

精度の向上

データに基づく意思決定を可能にし、設備投資・生産計画・品質改善の精度を高める。

若手が育つ環境

人材の成長

若手が働きやすく、成長しやすいデジタル環境を整備する。

持続的に競争力を発揮できる「デジタル製造業」への転換を目指す。

DX管理責任者：三好孝平
部署：管理部 取締役本部長

MYS-QM-003-01



基幹システム構築

全業務のデータを一元管理する基幹システムを構築し、取引先管理、購買管理、経理・人事総務、外部機関との連携をデジタル化する。

現場

工場/設備のDX

工場レイアウト、機械稼働、設備老朽化をデータで見える化し、設備投資判断の高度化と生産性向上を図る。

効果：時間チャージ+15%

事務所

受注～経理DX

受注 → 工事 → 工程 → 機械 → 人財 → 伝票 → 経理。すべての業務をデータで連携し、売上を生み出す流れが見える化する。

効果：受注～請求LT ▲40%

人財

従業員/採用DX

技能評価をデジタル化し、賃金・教育と連携させることで、技能継承と若手育成を強化する。

効果：習熟期間 ▲25% / 離職率 ▲10%

資料

各種資料DX

図面・プログラム・伝票・公的資料をデジタル化し、「すぐ見つかる・すぐ出せる」環境を整備する。

効果：書類検索 ▲50%

分析/計画

分析/計画DX

蓄積したデータを分析し、改善計画を再構築することで、改善のPDCAを高速化する。

効果：改善サイクル 月次→週次

DX管理責任者：三好孝平
部署：管理部 取締役本部長



サイバーセキュリティ対策

サイバーセキュリティに関する対策の的確な策定及び実施

当社では、情報処理システムの安全性および信頼性を確保するため、以下のセキュリティ対策を実施している。

端末防御

エンドポイント対策

次世代型エンドポイント防御ソフト「Deep Instinct」を導入し、AIによるマルウェア検知・防御を実施。管理者がポリシー設定を行い、端末の保護状態を一元管理する。

ポイント：Deep Instinct（AI検知）

バックアップ

データ定期取得

Acronis製バックアップシステムでPC・業務データを定期バックアップ。バックアップファイル（TIBX形式）を日次で取得し、障害発生時の迅速な復旧体制を整備する。

ポイント：Acronis / TIBX（日次）

権限管理

アクセス制御

社内データはユーザー権限に応じてアクセス制御を行い、重要情報へのアクセスは管理部が統制する。

ポイント：管理部がアクセスを統制

外部連携

安全なデータ共有

税理士・社労士等の外部機関とのデータ共有は、暗号化されたチャネル（クラウドストレージ等）を用いて行い、情報漏洩リスクを低減する。

ポイント：暗号化チャネルで共有

更新管理

更新・パスワード

OS・アプリケーションの更新を定期的実施し、パスワードは複雑性要件を満たすものを使用する。

ポイント：定期更新・複雑性要件

DX管理責任者：三好孝平
部署：管理部 取締役本部長